

大阪探検隊

Osaka City Expeditionary party

イサム・ノグチの遺作が完成 モエレ沼公園

Moerenuma Park

日系アメリカ人の彫刻家イサム・ノグチ(1904~88)が基本設計した札幌のモエレ沼公園が7月にグランドオープンしました。

広さは約189ha、U字型のモエレ沼と沼に囲まれた約100haの陸の部分で構成されています(大阪城公園が約100ha)。公園全体が一つの彫刻としてつくられており、ガラスのピラミッドや様々な遊具・彫刻、水遊びの池や噴水、スポーツ施設などが散りばめられています。



モエレ山

美しい円錐形の山で地域のランドマークとなっています。

標高62m、建設残土を盛った山です。登るのが少しきついですが、風が通り、360度見渡せる頂上は最高です。



ガラスのピラミッド

愛称は「HIDAMARI」。公園のシンボルとなるガラス張りの建物です。休憩所となるアトリウム、ギャラリーや、レストラン、ショップなどが入っています。てっきり完全なピラミッド型（四角錐）をしているものと思っていたのですが…一部欠けていました。



モエレビーチ

とても緩やかなすり鉢上の敷地に水を張った浅い池です。白いパラソルが立ち、北の大地が南のリゾートの様です。美しい海辺をイメージしてサンゴで舗装されているそうです。



たくさんの子供達で賑わっていました。小さなお子様用に、プールでも大丈夫な泳げるオムツが売っていました。

海の噴水

最高 25mの太い水の柱を噴き上げます。驚く程の水量で見せるダイナミックな水の動きは大迫力。

感動ものですが、扱う水量が多いだけに、水を溜めたり引かせたりする間が少ししんどい 40 分間のプログラムでした。



公園の中は視界が広く、芝の緑が鮮やかで、とても気持ちが良い空間です。全体で一つの彫刻と言われてもピンと来ませんでした。人工的なのに大地とか自然を感じる、とても心地よい所でした。他にはない公園、空間だと思いますので、機会があれば是非行ってみてください。

